

ヒメミズカマキリ *Ranatra unicolor* Scott

タイコウチ科

特徴

体長24~32mm、腹部末端に長い呼吸器官があります。前肢はカマ状で、獲物をとらえ、そして口器で体液を吸います。中・後肢は水草を押さえます。産卵は水生植物の茎などの組織に行います。同じ仲間の大型のミズカマキリは土中に産卵します。

生息環境

水草が繁茂する湖沼や河川の水中に生息します。

国や県の分布

北海道・本州・四国・九州に分布しますが、個体数は少ないです。県内では、各地の溜池や小川に生息します。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



アカスジキンカメムシ *Poecilocoris lewisi* Distant

キンカメムシ科

特徴

体長17~20mm、光沢のある金緑色に、淡赤色の条紋がある大型のカメムシです。秋に黒色地に腹部周辺が白く縁取られた幼虫が食樹(シンジュ)の木から降りて、地中で越冬し、翌春5月頃、成虫が出現します。食樹は他に、フジ・ミズキ・キブシ・キハダなどです。

生息環境

食樹のミズキ・キブシなどが生育する低山帯の落葉広葉樹林に生息します。

国や県の分布

本州・四国・九州に分布し、個体数は少ないです。県内でも数は少ないとされていましたが、近年各地で多く見つかっています。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



キカマキリモドキ *Eumantispia harmandi* (Navas)

カマキリモドキ科

特徴

体長20mm程度、前翅長17mm程度。前肢が鎌形で小動物を捕らえるようになっていて、和名のごとくカマキリによく似ています。前後翅とも透明で、翅脈がたくさんあります。夜間、山間地にある街灯の光に飛んできます。成虫は6~8月に現れます。

生息環境

山地の雑木林の下草、ススキの草原で、ナラやクヌギなどの雑木があるようなところに生息します。

国や県の分布

本州・四国・九州に分布。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ヒメカマキリモドキ *Mantispa japonica* MacLachlan

カマキリモドキ科

特徴

腹体長8~14mm、前翅長10mm程度。キカマキリモドキに似ているが小形です。前肢が鎌形で小動物を捕らえるようになっていることなど、外形はキカマキリモドキとほとんど同じです。幼虫は、エドコマチグモの卵のうに寄生することが分かっています。

生息環境

山地の雑木林の林縁部で日当たりが良く、草丈が高い植物が繁茂しているところに生息します。

国や県の分布

北海道・本州・四国・九州・対馬に分布。県内では広葉樹林の林縁部で見かけます。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



オオツノトンボ *Protidricerus japonicus* (MacLachlan)

ツノトンボ科

特徴

体長22~25mm、前翅が著しく長く、前翅長41mm程度。複眼は完全で、小溝によって2部に分割されていないことは、ツノトンボやキバネツノトンボと違います。また、外部形態がツノトンボによく似ていますが、大きさが全く違います。成虫は、6月下旬~8月下旬まで見られ、昼間活動しますが、数は少ないです。

生息環境

山地の草地に生息します。

国や県の分布

本州・四国・九州、中国地方の山地には、かなり多いようです。県内には少ないですが、南部の山地で見る機会が多いようです。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



キバネツノトンボ *Ascalaphus ramburi* MacLachlan

ツノトンボ科

特徴

体長23mm程度、前翅長28mm程度。前後翅とも比較的短く、前翅と後翅の色彩が全く違います。前翅が透明であるのに対して、後翅はやや黄色で、和名に由来します。成虫は、5月中旬~6月中旬に現れます。非常によく飛びます。

生息環境

日当たりの良い草原に生息します。卵は枯れたススキの茎などに産みつけられます。

国や県の分布

本州・九州に分布。県内では、日当たりの良い草原に、局所的に生息します。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ハンミョウ *Cicindela chinensis japonica* Thunberg

ハンミョウ科

特徴

体長20mm程度、青緑色と銅赤色が混じった美しい色をしています。山道などで、6~8月に見られ、近づくとき地面近くを3~5m飛び、また近づくとき飛ぶ行動を繰り返します。この行動が道案内のようなので、別名ミチオシエともいわれています。幼虫は地面に穴を掘り、中に入っています。近くを小昆虫などが通ると、捕まえて食べます。

生息環境

山道の傾斜のある礫の多いところに生息します。

国や県の分布

本州・四国・九州などに分布。県内では里山の山道で、普通に見ることができましたが、最近では、生息数が減っています。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ニワハンミョウ *Cicindela japana* Motschulsky

ハンミョウ科

特徴

体長15~18mm程度、背面は光沢がなく、暗緑色か黒色です。成虫は5~6月に見られ、地表で生活し、幼虫は穴を掘って生活していることは、他のハンミョウ類と同じです。ハンミョウ類は大顎が鋭く、小昆虫をどん食するので、Tiger Beetle (タイガービートル) と呼ばれています。

生息環境

平地から低山地にかけて生息します。山際の畑などの草が密生していないところや道に見られます。

国や県の分布

北海道・本州・四国・九州に分布。県内では、里山近くの道などで見ることができましたが、最近では生息数が減っています。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ミヤマハンミョウ *Cicindela sachalinensis* Morawitz

ハンミョウ科

特徴

体長15~22mm、体色は赤みを帯びた緑色か黒色で、光沢はありません。ニワハンミョウと似ていますが、この種の方がやや小形で、上唇の形が中央が突起した五角形、ニワハンミョウは台形です。前翅の白い紋は、個体や地域によって変異があります。

生息環境

標高1,500m程度の山地で、礫地で土地が露出した日当たりの良いところに生息します。林道などでも見られます。

国や県の分布

北海道・本州中部以北に分布。県内では、高原や山地の土地が露出した、日当たりの良いところに生息します。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



コニワハンミョウ *Cicindela transbaicalica japonensis* Chaudoir

ハンミョウ科

特徴

体長12mm程度、体色は暗銅色か暗銅緑色で、光沢はありません。成虫は地表で生活し、小昆虫などを捕まえて食べます。成虫で越冬して、3月下旬から活動します。新しい成虫は、夏から現れます。幼虫は砂地に穴を掘って生活し、近くを通る小昆虫を捕まえて食べます。

生息環境

平地にも山地にも生息し、砂地を好み、河原の地面が硬い砂地に、多く生息します。

国や県の分布

北海道・本州・四国・九州に分布。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



チュウブオオオサムシ *Carabus dehaanii punctatostriatus* Bates

オサムシ科

特徴

体長30mm程度。背面は藍色から青紫色のにぶい金属光沢を帯びます。後翅は退化して飛翔できず地表を歩行します。5月頃から夜間を中心に活動します。土中・朽木の中で越冬します。

生息環境

平地から標高1,600m程度の林地と疎林地に続く草地・土手などに生息します。

国や県の分布

本州に分布。県内では、やや南部に分布が片寄ります。生息地はきわめて局所的で個体数も少ないです。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ニッコウオオズナガゴミムシ *Pterostichus macrogenys* Bates

オサムシ科

特徴

体長17mm程度。全体に黒褐色。背面・腹面ともに光沢があります。肉食性です。大顎は左右非対称で大きく発達し、頭部は頬が張って前胸と同じ大きさです。年1回の発生と考えられ、5~7月（雪解け期）によく見られます。

生息環境

露岩地、崩落しやすい岩石地等に見られ地中浅層で活動します。

国や県の分布

本州（東北南部・北関東・信越）に分布。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ゲンゴロウ *Cybister japonicus* Sharp

ゲンゴロウ科

特徴

体長40mm、すべすべした卵形の体で、硬くて丈夫な前翅と、長い毛のある大きくて硬い丈夫な後肢を持ち、泳ぐのに便利です。体の両側は淡い黄色で縁取られています。

生息環境

水生植物の生えた池・沼・水田に生息します。成虫は灯火に飛来することもあります。

国や県の分布

北海道・本州・四国・九州に分布。水田の農業利用等により幼虫が死亡し、その数が全国的に減少しています。全県に分布しますが、県内でも数が減少しています。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ベッコウヒラタシテムシ *Eusilpha brunneicollis* (Kraatz)

シテムシ科

特徴

体長20mm程度、体色は黒色であるが、前胸背は橙赤色で、普通は中央が暗色。上翅は光沢が鈍く、腹面と肢、ときには頭部が藍色を帯びています。体形は偏平で、楕円形をしています。成虫で越冬し、初夏から現れ、腐肉に集まり食べます。

生息環境

平地から山地の雑木林に生息しますが、樹木が生えている河川敷などでも見ることがあります。

国や県の分布

本州・四国・九州に分布。県内では、雑木林がある地域に局所的に分布しますが、生息個体数は少ないです。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



カバイロヒラタシテムシ *Oiceoptoma subrufum* (Lewis)

シテムシ科

特徴

体長13mm程度、体色は黒色であるが、前胸が赤色で、上翅が暗褐色です。前胸背は凸凹しています。体形は偏平で、楕円形をしています。捕まえると腹部の末端を曲げて臭い液を出します。成虫で越冬するものと思われます。初夏から現れ、腐肉に集まり食べます。

生息環境

山地に生息しますが、標高1,000～1,200mの高地の森林帯にも見られます。

国や県の分布

北海道・中部以北の本州に分布。県内では、山地や高地の森林帯に局所的に分布しますが、生息個体数は少ないです。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ミヤマクワガタ *Lucanus maculifemoratus* Motschulsky

クワガタムシ科

特徴

体長雄43~72mm、雌32~39mm。雄の背面は暗褐色で、黄褐色の毛があります。雌の背面は黒褐色で毛がありません。腿節の下面に黄褐色の紋があります。雄の大顎の形は、変異が大きく、別種と思われるほどの個体もあります。

生息環境

クヌギやナラなどブナ科の樹木の樹液に集まります。幼虫はブナ科などの枯木に潜り、食べ進んでトンネルを作ります。

国や県の分布

北海道・本州・四国・九州・奄美大島など全国に分布。県内では、クヌギやナラなどの林がある里山に分布します。

塩尻市
長野県
環境省

EX EW CR EN **VU** NT DD
EX EW CR EN VU NT DD N
EX EW CR EN VU NT DD



ルリクワガタ *Platycerus delicatulus delicatulus* Lewis

クワガタムシ科

特徴

体長雄9~14mm、雌8~12mm。雄の背面は青藍色の金属光沢、雌が赤銅色から青緑色、または、藍色か黒色の金属光沢です。日本固有種、成虫が現れるのは初夏、幼虫は立ち枯れたブナ・ミズナラなどの樹皮下を食べます。成虫は朽ち木の上などで見られ、雌は「(・)」状の産卵マークをつけます。

生息環境

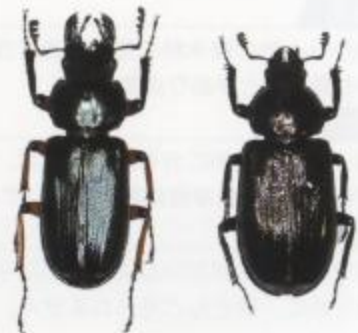
ブナやミズナラなどブナ科の原生林、または、二次林に生息しますが、これらの樹木の枯木があることが必要です。

国や県の分布

本州・四国・九州に分布。

塩尻市
長野県
環境省

EX EW CR EN VU NT **DD**
EX EW CR EN VU **NT** DD N
EX EW CR EN VU NT DD



ホソツヤルリクワガタ *Platycerus kawadai* Fujita et Ichikawa

クワガタムシ科

特徴

体長雄9~13mm、雌8~12mm。雄の背面は青藍色、雌が緑銅色から暗銅色の金属光沢です。日本固有種、成虫が現れるのは初夏、幼虫は立ち枯れたブナ・ミズナラなどの樹皮下を食べます。成虫は朽ち木の上などで見られ、雌は「(・)」状の産卵マークをつけます。

1982年(昭和57年)に新種記載されました。

生息環境

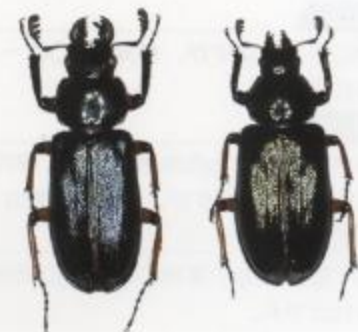
ブナやミズナラなどブナ科の原生林、または、二次林に生息しますが、これらの樹木の枯木があることが必要です。

国や県の分布

東海と関東の6都県のみ分布。

塩尻市
長野県
環境省

EX EW CR EN VU NT **DD**
EX EW CR EN **VU** NT DD N
EX EW CR EN VU NT DD



センチコガネ *Geotrupes laevistriatus* Motschulsky

センチコガネ科

特徴

体長14~20mm、紫・紫銅・青紫・金銅色などで光沢があり、体下と肢は普通藍色であるが、紫・緑・銅色などをおび褐色毛がありません。成虫は、**獣糞**や動物の死骸に集まります。そして、**獣糞**の下の地中へ糞を運び込み産卵します。

生息環境

獣糞を食べて生活するので、おもに牛や馬などを放牧している牧場に生息します。

国や県の分布

千島・北海道・本州・四国・九州など全国に分布。県内では、牧場のある地域に生息します。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



トラハナムグリ *Trichius japonicus* Janson

コガネムシ科

特徴

体長12~14mm、体は黒色で、全体に長い黄色毛が密生していて、マルハナバチの仲間に似ています。前翅にある3対の黒紋は変異があります。日本固有種で、成虫は初夏に現れ、シシウドなどの花上に集まり、蜜をなめます。

生息環境

標高1,000m程度の山地に生息し、日当たりのよい草原や林道などの白い集合花に集まります。

国や県の分布

北海道・本州・四国・九州などに分布。県内では局所的で、生息地と個体数が極度に減少しています。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



エサキキンヘリタマムシ *Scintillatrix kamikochiana* (Obenberger)

タマムシ科

特徴

体長は11~15mm、体形はやや扁平で細長い楕円形、ほぼ全身が金緑色、上翅側縁は金橙色を帯び背面に藍色の小紋をもちます。光沢はややにぶく、光の角度で緑色から金緑色に中心部は大きく変化します。

生息環境

溪流沿いの林や、比較的大きな川の河川敷等に生息します。

国や県の分布

北海道、本州に分布する日本固有種。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ヒゲコメツキ *Pectocera fortunei* Candeze

コメツキムシ科

特徴

体長24~30mm、背面は赤褐色で光沢があり、黄白色の斑紋があります。翅端はとげ状に尖っています。触角は、雄では櫛状になっていて見栄えがしますが、雌は鋸歯状になっています。日本産コメツキの仲間では大型種です。

生息環境

山間地に生息し、幼虫は、森林などの腐葉土の中や朽ち木の樹皮下に生息します。

国や県の分布

北海道・本州・四国・九州・奄美大島・沖縄などに分布。県内では、個体数は少ないですが、里山から山間地に生息します。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ヒメボタル *Hotaria parvula* (Kiesenwetter)

ホタル科

特徴

体長6~9mm、前胸背は淡赤色で、前方に半楕円形の黒色紋があります。雄は体が長く、雌は丸みがあります。雄は飛翔しますが、雌は後翅が退化しているために、飛ぶことができません。

成虫は7月中旬に現れ、雄はササなど草の上を低く飛び、短い周期で比較的強く発光し、雌も草むらの中で発光します。

生息環境

森林のササなどの茂った山地に生息し、幼虫は陸生の巻貝を食べて成長します。

国や県の分布

本州・四国・九州・屋久島などに分布。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ゲンジボタル *Luciola cruciata* Motschulsky

ホタル科

特徴

体長12~18mm、前胸背は淡赤色で、中央に十字形の黒色紋があります。成虫は6月中下旬に現れ、水辺のコケなどに産卵し、孵化した幼虫は水中生活をし、カワニナを食べて成長します。翌年4月下旬に上陸し蛹化します。

生息環境

幼虫は、水質汚染が少ない沢や川に生息し、成虫は、その周辺で生活します。

国や県の分布

本州・四国・九州に分布。県内では、農業や除草剤の使用が少なく、比較的汚染の少ない川に生息します。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ヨツボシカミキリ *Stenygrinum quadrinotatum* Bates

カミキリムシ科

特徴

体長9~13mm。体は太く短く赤褐色。中肢脛節は湾曲、上翅中央から前に4つの明色紋があり、その周辺は濃い褐色部分が広がります。年1回、6~8月に発生。雑木林の枯枝などを歩行し、花にも飛来します。

生息環境

標高1,000m以下の里山の雑木林や人家周辺の樹木地などに生息します。

国や県の分布

全国（沖縄を除く）に分布。県内では各盆地近くの低山域に分布する普通種でしたが、1990年頃以降見られなくなりました。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



アカジマトラカミキリ *Akajimatora bella* (Matsumura et Matsushita)

カミキリムシ科

特徴

体長16~19mm。成虫の体は黒色で、黒色と鮮赤色の微毛におおわれ、斑紋状になっています。翅端の角は、長いとげ状に突起していて、雄は雌よりも鮮赤色です。赤色と黒色の縞模様が非常に鮮やかです。成虫は、6~8月に現れます。

生息環境

成虫はケヤキの老木に集まります。幼虫はケヤキの樹皮下を食べ、成長するにしたがって材部に入ります。

国や県の分布

本州・四国・九州に分布。県内全域に生息しますが、個体数は少ないようです。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ヨツボシナガツツハムシ *Clytra arida* Weise

ハムシ科

特徴

体長9mm程度、前翅は橙黄色で、4つの黒色紋があります。卵は糞で包んで、地上に落とします。孵化した幼虫が、どのような生活をするか、よく分かっていません。成虫は6月中旬頃から現れ、ハギ・カンバ・ヤナギ類などを食べます。

生息環境

草原性の山地やハギ・カンバ・ヤナギ類が自生する日当たりの良い山道で見かけます。

国や県の分布

本州・四国・九州に分布。県内全域に生息していますが、個体数は少ないようです。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ハッカハムシ *Chrysolina exanthematica* (Wiedemann)

ハムシ科

特徴

体長7.5~9mm、体は黒色。背面は銅黒色で、前翅肩部は隆起が著しく、表面に隆起物が列状になっています。肢や触角の基部は、青藍~紫藍色です。成虫は6月に現れ、ハッカを好んで食べますが、カキドオシも食べます。

生息環境

平地や山地のハッカが自生していて、日当たりの良い環境に生息しています。

国や県の分布

北海道・本州・四国・九州など全国に分布。県内では全域に生息しますが、個体数は多くありません。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ドロノキハムシ *Chrysomela populi* Linnaeus

ハムシ科

特徴

体長10~12mm、体は黒青色で光沢があります。前翅は赤褐色で光沢があり、成虫は6~8月に現れます。幼虫は体の側面にある9対の反転腺から臭気のある揮発性の忌避物質を出します。幼虫も成虫もドロノキ・ヤマナラシ・ヤナギ類を食べます。

生息環境

里山や山地の日当たりが良く、ドロノキが自生している環境に生息します。

国や県の分布

北海道・本州・四国・九州などに分布。県内では全域に生息しますが、ドロノキの減少に伴い生息個体数が少なくなりました。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ニホンミツバチ *Apis cerana* Fabricius

ミツバチ科

特徴

働きバチは体長13mm程度、黒色で、胸部と腹部に黄褐色部がありますが変異が多いです。養蜂に用いられるセイヨウミツバチとは、後翅の翅脈の違いで区別できるほか、セイヨウミツバチはニホンミツバチより体の黄褐色部が多いことで区別できます。スズメバチに巣を攻撃された場合、スズメバチに何匹も群がり、その発熱で殺してしまう防御術を備えています。

生息環境

山地の木の根元や木の洞穴に巣を作ります。

国や県の分布

北海道・本州・四国・九州など全国に分布。県内では全県に生息しますが、養蜂をしている地域もあります。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



オオナガレトビケラ *Hymalopsyche japonica* Morton

ナガレトビケラ科

特徴

幼虫は体長35mm程度で、水中で生活します。胸部・腹部の背面に縞状の気管鰓が発達します。

生息環境

河川上流域の、勾配が急で、流量が豊富な溪流に生息します。

国や県の分布

北方系の昆虫で、ヒマラヤを起源に、北は日本、南はタイへ分布を広げました。国内では今まで調査がされていないため、情報不足です。県内では2001年鶴石氏により、上流域で流量の多い、水しぶきの立つ岩場に生息していることが判明しました。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ホシチャバネセセリ *Aeromachus inachus inachus* (Menetries)

セセリチョウ科

特徴

開長26mm程度の小型の蝶。県内では年1回、7~8月に発生。飛翔は活発。草地の葉上でなわばりを作るほか、湿地で吸水します。

生息環境

乾燥性の草原をおもな生息地としています。

国や県の分布

本州および対馬に分布。県内ではやや局所的ですが広く分布し、場所によっては湿った土面におびたしい数の個体が見られましたが、現在は生息地、個体数が著しく減少しています。

塩尻市	EX EN CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



アカセセリ *Hesperia florinda* (Butler)

セセリチョウ科

特徴

開長31mm程度のやや小型の蝶。翅表はやや濃色の茶褐色、コキマダラセセリに似るが雄の前翅に性標があることで区分できます。年1回、7月下旬~8月に発生。飛翔は活発で日当たりが良い草原を飛び交っています。

生息環境

乾燥性草原に生息します。コキマダラセセリよりさらに陽地性向の強い種です。

国や県の分布

本州中部と北関東の山地に分布し、長野県は分布の中心に位置します。県内では北部、南部を除き中央山塊を中心に広く分布します。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD

